

2年間で1億円超を中小業者が受注 50万円以下の小規模修繕工事で

上越民主商工会の要望で2年前に実現した、
小規模修繕工事希望者登録制度。

小規模修繕工事希望者登録制度は、2年前の03年5月に私も同行して上越市の契約課と交渉し、「中小業者は大幅な仕事減で非常に困っている。制度の実現で受注機会を拡大し、中小業者にも仕事が来るようにして欲しい。」と要望して実現したものです。

この制度は、今まで入札参加資格がなく、市が発注する工事を受注できなかった業者に、「登録」するだけで小規模（50万円以下）修繕工事の受注機会を与えることによって、地域経済の活性化を図ることを目的にしています。

03年9月に旧上越市ではじめられましたが、現在は合併によって13区にまで広げられ、05年度（8月末に登録×切）は、309の事業者が登録しています。

着実に受注が広がっていますが、まだまだです。

「誰が、どのような工事を受注したのか分からない」「自分が受注できなかった原因が分からない」などの声もあることから、民商では今年8月9日に、「各部署に分散している発注実績を集約して公表するよう」求める要望をしました。その要望に沿って、契約課で取りまとめた実績が、先ごろ明らかになりました。

下の表をご覧ください。件数が全部で2445件もありますから、どんな工事なのかをお知らせできませんが、今年

小規模修繕工事の実績

		2003年度 9月～3月	2004年度 4月～3月	2005年度 4月～8月	累計
件数	総数	589件	1176件	680件	2445件
	月平均	84件	98件	136件	102件
金額	総額	2619万円	5195万円	3582万円	11396万円
	月平均	374万円	433万円	716万円	475万円
1件あたりの金額		44,465円	44,175円	52,676円	46,609円

度からは、13区を含む上越市のほとんどすべての部署から発注されています。月平均の発注件数を見ますと、着実に増えているのがわかります。その一方で、1件あたりの発注単価の伸びが小さいという特徴もあります。

「130万円未満の工事は平成14年度で約3600件、約4億円（契約課）といわれていますから、まだまだ少ないということも明らかになりました。中小零細企業では、まだまだ厳しい状況が続いています。いっその発注増で、地域経済を守っていく必要があるといえます。」

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2005年10月30日 90
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832